

	SSKP
	<p>発行 全国脊髄損傷者連合会 神奈川県支部 〒252-0207 相模原市中央区矢部新町1-9-101 電話 042-852-3525</p>
	<p>編集人 赤城 喜久代</p>

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇一八年八月三十一日発行(毎月十八回一・二・三・五・六・七の日発行)
SSKP通巻第六九六八号

ホームページ <http://www.max.hi-ho.ne.jp/yawaragi/>
メールアドレス yawaragi@max.hi-ho.ne.jp



初挑戦の「カーレット」。氷上のカーリングに似ており頭脳プレーも楽しめ大変面白い

第40回支部総会の報告 2 事務局長 小暮 進	第3回ワイワイ味わいランチ会 5 東京都支部 木本 淳也
第17回総会石川県大会の報告 3 支部長 赤城 喜久代	「カーレット」に初挑戦！ 6～8 コミュニケーション&頭脳スポーツ 県央協会 大井 知子
いちご狩りに参加して 4 県央協会 小暮 進	会員動向・編集後記 9

全脊連神奈川県支部

第40回支部総会の報告

事務局長 小暮 進

日時 …平成30年6月17日（日）

13時00分～14時30分

会場 …伊勢原市フォーラム246

4F会議室

総会は、開会の言葉が山崎昇副支部長より発せられ、まず初めに、赤城支部長より挨拶の言葉がありました。次に議長団の選出があり、議長に路川みどりさんが選出され、議事進行に移りました。

最初に資格審査が求められ、小暮事務局長より4月1日現在の支部会員総数は、94名で、会則10条2項による総会成立の定足数は48名。

総会出席者総数(11)名、委任状(40)名、合計(51)名、よって総会は成立すると報告されました。

第1号議案の平成29年度の事業報

告が、小暮事務局長よりあり、ピアサポートの個別相談会を実施し、2組の相談を受けたこと、共同募金助成セミナーとして、「空飛ぶ車いすから見た世界のバリアフリー事情」と題してバリアフリー研究所の木島英登氏の講演を行ったこと、定例役員会の開催、やわらぎの発行、共同募金活動に参加、全国定時総会石川県大会出席、関東甲信ブロック大会茨城県大会に出席、関東甲信ブロックピアサポータースキルアップ研修会に出席。

講演1. 生きていることの素晴らしさ、努力は人を裏切らない。講演2. 発展途上国で脊髄損傷者になりました。講演3. 高次機能障害への対応の3本の講演会を受講。

川崎協会主催の「脊髄損傷者を取り巻く就業状況について」のセミナーの開催等を報告され、第1号議案

の賛否を図ったところ、賛成多数で第1号議案は、可決されました。

第2号議案の平成29年度の決算報告が、相馬財政部長より、報告があり、監査報告が、大井知子監事より報告され、第2号議案の賛否を図ったところ、第2号議案が賛成多数で可決されました。

第3号議案の平成30年度活動方針及び事業計画が、赤城支部長より提案されました。

第3号議案の賛否を図ったところ、賛成多数で、可決されました。

第4号議案の平成30年度予算の件が相馬財政部長より提示があり、第4号議案の賛否を図ったところ、賛成多数で第4号議案が賛成多数で可決されました。

路川みどり議長が解任され支部総会は無事閉会しました。



第17回総会 石川県大会の報告

支部長 赤城 喜久代

今年の全国総会は石川県金沢市で行われました。20数年ぶりに訪れた金沢は、駅前などはがらりと変貌を遂げ、新幹線の開通により東京と2時間半という近さになりました。地下街は駅前のエレベーターで簡単に降りられ、宿泊しているホテルと、総会会場の県立音楽堂は地下でつながり、とてもアクセスシブルな街になっていました。

今年は公開講演が3本ありましたが、1本目は一日目の代表者会議の前



に「自動運転自動車への期待と課題」と題して、金沢大学の菅沼直樹准教授の講演がありました。金沢大学の研究室では、学生15名を

含む総勢21名の方が自動運転に取り組み、一般道から高速道路まで、さまざまな場面、様々なテクノロジーを駆使して実験に取り組んでおられ、今後どのように発展していくのかとても興味深いお話でした。

一日目の夕食は、金沢らしい料理をと思い、田中支部長に案内をお願いし、和倉温泉のおもてなしで有名な、あのか賀屋のお食事処で加賀料理をいただきました。

二日目の総会は、式典の後2本目の公開講演でしたが、参議院議員の橋本聖子氏と平昌パラリンピックで金・銀・銅とメダルを多数獲得した、村岡桃佳さんのトークショーとなりました。昼食をはさみ、午後から3番目の講演「改正障害者総合支援法」について、厚生労働省の内山博之氏からお話がありました。

その後総会が始まり、第1号議案の平成29年度事業報告、第2号議案の平成29年度収支決算報告と29年度監査報告とを同時に賛否を問い、賛成多数で可決されました。そして、第3号議案の30年度事業計画、4号議案の30年度収支予算案、5号議案の定款の変更について、6号議案の役員等候補選出委

員の選出について、7号議案の本部提案事項まで、すべて賛成多数で可決されました。午後5時ごろ総会はすべて終了しました。

午後6時30分から交流懇親会が始まりました。ポンポンと、いきなり真後ろから鼓の音が鳴りました。びっくりして振り返ると、1メートルほど高いステージには、和服3名の奇麗どころが並んでいます。そこから、鼓と太鼓と横笛の間合いの良い競演が始まりました。あまり聞くことがない邦楽の演奏は、さすが古都100万石の城下町ならではのです。全国から集まった会員の方たちも、久しぶりに会った仲間たちとあちこちで話の花を咲かせ、旧交を温めあっているようでした。

三日目、お土産屋さんで支部長お勧めのキンツバと、金沢の記念に九谷焼のマグカップ、それとお昼用にマスコ司を求め、列車に乗り込みました。マスコ司もキンツバもとても美味でした。今回は総会だけで終わってしまい、近江市場に行く暇がありませんでしたが、金沢は海の幸山の幸、そしてスイーツとおいしいものには事欠かない所です。ぜひまた訪れたい街の一つになりました。



いちご狩りに参加して

県央協会 小暮 進

去る3月24日、神奈川県支部としては、毎年恒例行事となった、いちご狩りに参加してきました。今年も天気にも恵まれ、暖かく、気持ちのよい日でした。当日は、会員の家族、ヘルパーさんを含めて、総勢16名の参加でした。

今年の内海いちご園さんでは、「章姫(あきひめ)」「やよい姫」「紅(べに)ほっぺ」の3種類の品種を食べることができました。

「章姫」は、静岡県の萩原章弘さんが久能早生に女峰を交配した品種で、特徴としては、果実はやや大きく、細長い円錐形をしていて、果肉は表面に近い部分が薄いピンクで果心部分は白いです。やや柔らかくジューシーで、酸味が少なくその分甘さを感じます。

「やよい姫」は、群馬県農業試験場で、「とねほっぺ」と「とちおとめ」の交配種に更に「とねほっぺ」を交配した品種です。特徴としては、平均果重20グラムと大きい粒と上品な薄紅色で、果肉は、しっかりしていて、中まで、薄い赤色をしています。甘みと酸味のバランスが良く日持ちもよいイチゴです。

「紅(べに)ほっぺ」は、静岡県農業試験場で、「章姫(あきひめ)」に「さちのか」を交配して育成された品種で、ほっぺが落ちるくらいコクがありおいしく、また、親しみを持ってもらえるようにという願いがこめられているそう



来年もまた食べたいですね



ほっぺが落ちるくらい おいしかった

です。非常に人気が出てきた品種で、最近では各地で栽培されるようになりました。特徴としては、果実は長円錐形で章姫ほどではありませんが、かなり大きくなるのが特徴で、果実の中まで赤く、章姫よりもやや固くしっかりとした食感があります。甘みだけでなく、酸味とのバランスも良くコクがあつてとても美しいイチゴです。個人的には、この「べにほっぺ」よりも、章姫が、一番おいしかったですね。今回は、3種類のいちごを食べ比べることができて、とてもぜいたくな時間を過ごすことができました。

いちご狩りの後は、いつものフォーラム246へ移動して、皆で、ランチを食べました。いちごをこれでもかというくらいおなかいっぱい食べたのですが、ランチでは、伊勢原産の卵を使用したオムレツをぺろっと食べてしまいました。デザートは、別腹なんではないか。順番が逆ですけどね。今年も、楽しく、和やかなひと時でした。

神奈川県支部交流会・女性部主催

第3回 ワイワイ 味わいランチ会

東京都支部 木本 淳也



7月13日神奈川県支部のランチ会（横浜ベイホテル東急カフェ・トスカ）に参加致しました。横浜のほうに久しぶりに行きたかったことと、みなとみらいは今回で2回目となりました。

みなとみらいは相変わらず、高い建物もありつつ、街並みも景観も良くて、最高の場所だと改めて思いました。横浜ベイホテル東急のカフェ・トスカは食べ放題形式のビュッフェのお店でした。お店の中に噴水があり、窓からは遊園地が見えて素晴らしい場所でした。

まずは、サラダとオムライスを食べながら、神奈川県支部の方々と交流しました。参加者の方についているヘルパーさんも積極的に「何か取る？」と声をかけていただき助かりました。お店の方たちも「食事を取るときは気軽に声をかけてくださいね！」と配慮いただき、このように対応してもらったことができたなら、さまざまな障害のある方も気軽に行けるお店だなと思いました。神奈川県でヘルパー派遣事業をされている人の話を聞いてみると、とても共感できるような話を聞くことができました。

まだまだ支部の方々と交流できていないなと思っていたところ、北島さんに声をかけていただきました。脊髄損傷

者連合会以外にも、地域活動支援センターでも活躍されてさまざまなお話を聞かせていただきました。交流会でできたつながりで、一度見学させていただきたいなという思いです。

その後交流会が終わってからも、「近くでヘルパー派遣事業所をやっているから見に来ませんか？」と声をかけていただき、見学させていただくことになりました。

今回神奈川県支部のランチ会に参加させていただき、支部の方とつながりを持つことができたこと、終わってから、事業所の見学もさせていただいた機会につながりました。食事も洋食を中心でお店の方や、ヘルパーさんの配慮があり、素晴らしい場所です。食事を経て貴重な経験になりました。



北村さんは 食欲旺盛でしたか？ みんなと食べるとモリモリです

コミュニケーション&

頭脳スポーツ

(日本発！世界初！)



まず講習会でルールを習いました
机の上でできる手軽さです

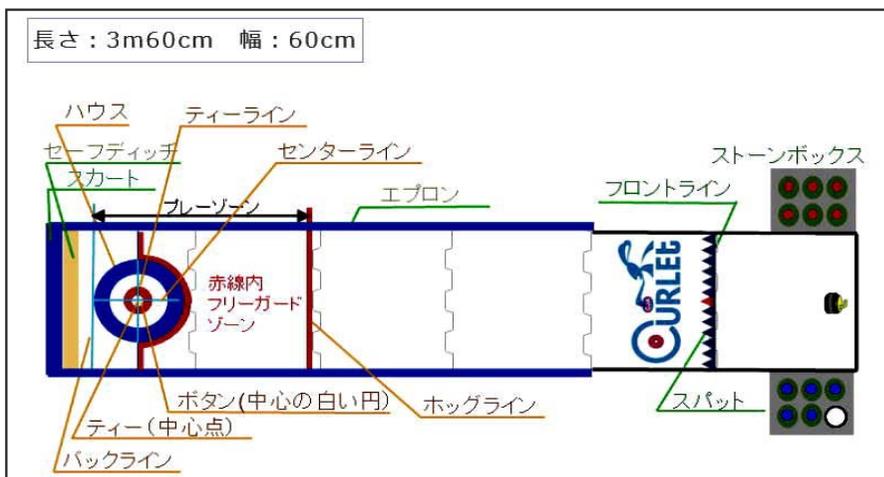
**「カーレット」
に初挑戦！**

県央協会
大井 知子

平成30年6月17日(日)総会終了後に、フォーラム246の会議室にて講習会及び練習会が行われました。このカーレットという競技は、2012年4月設立の新しい競技です。全国に13道県44か所と日本丸の船上で楽しめます！ちなみに神奈川県には8か所あります。

講習会には神奈川県西湘クラブ4名、伊勢原笹窪クラブから2名の方にお越し頂きお手伝いいただきました。

カーレットとは冬季オリンピックで有名な「カーリング」を卓上で気軽に楽しめる競技です。ルールはほとんどカーリングと同じで、長さ3・6メートルの競技台



上にストーンを滑らせ、円形の的を狙います。（右図参照）

・カーレットの精神

カーレットは競技を通じて、世代を超えて一緒になってゲームを楽しみながら、コミュニケーションを深められるスポーツです。「カラー（競技者）」はゲームに勝つためにプレッシャーですが、「相手の気持ちを思いやる心」、「感謝の気持ち」、「尊敬すべき行為」、「過失を素直に認める勇氣」が必要です。また参加者も同様です。

・カーレットのゲーム

氷上ゲーム「カーリング」は技術と伝統のゲームです。またゲームの



神髄に通ずるといわれています。その神髄を手軽にどこでも行えるよう考

案したのが「カーレット」です。

石のはじけ方、はじけ音、質感等は非常に癒しになります。さらに加えて昔から日本に伝わる「おはじき」の面白さが「ビリヤード」のクッションの楽しさと共に、思考的知的ゲームであり、コミュニケーションと五感を培うことを多く含んだゲームです。

・カーレットの効果

1. コミュニケーション性の高い対抗競技です。シニアから小さい子どもまで、一緒に学び楽しめます。もなく、一緒に学び楽しめます。

2. 発育の大切な幼児期に発生するスポーツ嫌いをなくすことや、スポーツが苦手な人をスポーツ好きにすることに有効なスポーツツールです。学校の授業やクラブ活動にも取り入れられています。

3. 特に子供の実地効果としては、「的に入れる」、「ストーンを当てる」等のプレーで「集中力」を高めます。また、「戦術」を話し合うことで「コミュニケーション力」、「思考力」を高

めることが可能です。

カーレットは山崎副支部長を除いて、全員が初めてでした。会議室のテーブルでセッティングができ、体育館の予約等の準備もなくて、また、機材も持ち運びが手軽にできるようにとても良く考えられています。

ストーンも手のひらにすっぽりと収まります。滑りも良く手に力がなくても気軽に楽しめます。

カーリングと同様にチーム戦ですので、皆で作戦会議をしてコースを決めストーンを滑らせるのですが、これが思うようにいかずに大変でした（笑）。

ストーンとストーンがぶつかる音が、とても心地良い音「癒し」でした。

講習会、練習会と2時間があっという間で、皆さんとても楽しんでいました。

今回、参加できなかった会員の皆様。もし次回開催がありましたらぜひ参加して下さい。

とても楽しいですよ？

得点の数え方

ハウス内にあり、相手ストーンより中心に近いストーンが点数になります
負けたチームは必ず0点です。スコアは左から 2対0 0対0 0対3

・黄チーム2点 ・互いに0点(ドロー) ・赤チーム3点



The diagrams show a target with concentric circles (red center, white middle, blue outer) and a vertical line. In the first diagram, two yellow stones are in the white ring and two red stones are in the blue ring. In the second, one yellow and one red stone are in the white ring. In the third, three red stones are in the white ring and two yellow stones are in the blue ring.



～みんな 真剣です～



障害が重い人にはストーンは重い
かも 投げ方に何かひと工夫を



身を乗り出しての的をねらう その爽快感は格別です

会員動向

○入会者

2018年5月21日

川崎

○退会者

2017年9月9日

県央

会費未納

2018年5月7日

松山 幸久

湘南

脊損ニュース不要のため



●死亡退会者

謹んでお悔やみ申し上げます

2017年9月21日

瀬川 唯二様

横浜

2017年10月4日

原沢 茂夫様

西湘

2018年8月9日

大谷 顕弥様

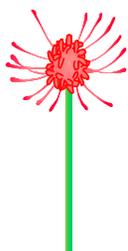
川崎

○住所変更

2018年6月11日

安藤 朱美

東京都へ転居
西湘



編集後記

今年の夏はとにかく暑くて長かった。異例の6月中の梅雨明けから始まり、連日の「酷暑」続きには参りました。体温調節が効かないため熱が体にこもり、冷房が必要なのに冷風や扇風機が当たると関節が痛くなるためだるい夏を過ごしています。だんだん夏が嫌いになってきました。。

毎日通っている地域活動支援センターでは、私だけパーテーションで囲いちゃとした個室に居ますが、冷風って入り込んで来るのですよね。おまけに8月にエアコンを入れ替えたところ、部屋中をまんべんなく冷やすので余計に冷風が当たりやすくなってしまいました。これについては良い迷惑(?)です。このパーテーション、通常の会話には問題ありませんが職員と話す時は、「ひよっこり」覗いて会話をすることもあります。さすがに「はい、ひよっこりはん」とは言いませんが(笑)。さて、この「和」が発行される頃には、この暑さが落ち着き、外出が楽になっていることを願います。

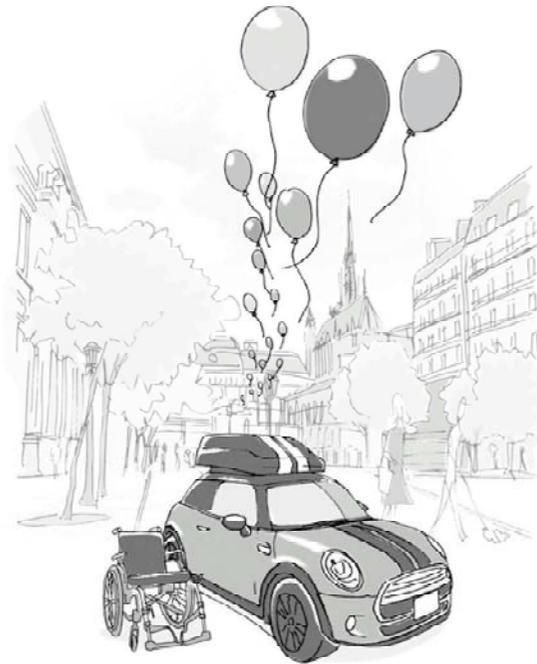
(S・K)

一九七七年十二月三日第三種郵便部認可
二〇一八年八月三十一日発行(毎月十八回)・二・三・五・六・七の日発行
SSKP通巻第六九八号

アイのある技術で、ユニバーサル社会に貢献します。

ニッシン自動車工業は2016年4月より、

”株式会社ミクニ ライフ&オート”と社名を変更し、新たなスタートを切りました。



Happy car life



車いすを屋根上へ収納

車いす収納装置

オートボックス



車いすに乗ったまま
スムーズ乗降

リモコン式

乗降用リフト

手でアクセル&ブレーキ

手動運転装置

APドライブ



車いすの積み降ろしを
サポート

車いす収納装置

ウィンチェア



福祉車両総合メーカー



Mikuni × Nissin automotive industry

株式会社

ミクニライフ&オート

〒349-1145 埼玉県加須市間口456-1

TEL.0480-72-7221

FAX.0480-72-7223

<http://www.nissin-apd.co.jp/>

編集人

相模原市中央区矢部新町一―九一〇一
「和」編集部 赤城 喜久代

発行人

特定非営利活動法人 障害者団体定期刊行物協会
東京都世田谷区祖師谷三―一―十七

ヴェルドウーラ祖師谷102

定価 三〇〇円